

◆西岡公園の木道について

第 1 回ワークショップでも多くの意見が出されていた木道は、昭和 52（1977）年から約 3 年間をかけて整備されたもので、古いものでは設置後 40 年が経過しています。

整備した当時は、水源地の湿原散策の目的で設置されましたが、年数が経つにつれ、日の当たらない木道下には植物が育たず、いつしか“水の通り道”になり浸食も進んできました。

さらに、水源池の上流の小川からは少しずつ土砂が湿原に運ばれ、木道の周囲が盛り上り、木道下の水は深い所で 1m を超え、転落した場合には事故につながる恐れもあります。

また、木道周辺の植物の生育状況が年々変化しており、木道の配置によって湿原の環境に影響を及ぼすことが分かってきました。

そのため、今回の改修計画では、木道のコースをどう見直すかが大きな問題となっています。



木道の下を小川のように流れる水



◆参考

西岡公園の概要

公園種別：特殊公園（自然を生かす風致公園）
※平成 21 年に総合公園から種別変更
公園面積：40.9ha（409,845 m²）
水源池面積：7.4ha（73,500 m²）
主な施設：水源池、管理事務所、取水塔（登録文化財）
木道、展望デッキ、トイレ、あずまや など

公園の歴史

明治 41 年：旧陸軍第 7 師団歩兵第 25 連隊の軍用水道（月寒水道）の水源池として工事着工
明治 42 年：月寒水道完成、通水
昭和 46 年：白川浄水場の完成により西岡浄水場（月寒水道）は停止
昭和 52 年：都市公園（西岡公園）として整備される

■西岡公園のリニューアルに関するお問い合わせ

札幌市豊平区土木部維持管理課公園緑化係 （担当：中村 電話 851-1681）
北海道造園設計株式会社 （担当：佐藤、佐々木 電話 758-2261）

西岡公園リニューアル通信

木道や施設の見直しについて

西岡公園は、水辺の公園としてバードウォッチングや自然観察の場として親しまれていますが、近年、木道をはじめとする施設の老朽化が進んできています。

こうした状況から、札幌市では今後も市民の皆さんに安心して西岡公園を利用して頂くため、近隣にお住いの方や公園を利用している皆さんから意見をうかがい、公園施設の改修計画を策定することにしました。

そこで、現地観察会を含め、3 回のワークショップ（※）を開催しますので、関心のある方はぜひご参加ください。

※ワークショップとは、色々な方々と協力しながら計画やモノづくりをする手法です。

◆第 1 回ワークショップが開催されました

古くなった公園の見直し計画の策定に向け、第 1 回ワークショップ「みんなで公園をみてみよう！」が 10 月 14 日土曜日に行われ、2 名の専門家に加え、西岡公園をよく利用されている地域の方 7 名、そして公園事務所のスタッフや札幌市の公園担当者も含め、計 15 名で公園内の問題点をはじめ、残すべき見どころについて確認しました。

その後、管理事務所前の広場において、意見や感想を出し合い、今後の西岡公園のあり方について意見交換をしました。（詳しくは、見開きページをご覧ください。）



植物や水生生物の専門家の解説を聞きながら見学

◆今後のスケジュール

第 1 回ワークショップ
現地見学会（平成 29 年 10 月 14 日）
みんなで公園を見てみよう！

第 2 回ワークショップ
意見交換会（平成 29 年 12 月 9 日）
公園の問題を考えよう！

第 3 回ワークショップ
報告会（平成 30 年 2 月中旬）
改修後の公園を紹介します

事業スタート
設計：平成 30 年度～

◆第 2 回ワークショップのご案内

テーマ：公園の問題を考えよう！

次回のワークショップでは、現地見学会で出された意見やアイデアなどをもとに、老朽化した西岡公園の施設について、どのように改修するかを利用者の皆さんと話し合いたいと考えています。多くのご参加をお待ちしております。

☆ **日 時：12 月 9 日（土）10 時～12 時**

☆ **集合場所：西岡公園管理事務所**

注 1 事前の予約は不要です。直接会場にお越しください。

注 2 車でお越しの方は、公園北側の駐車場をご利用ください。



◆第1回ワークショップでの意見

第1回ワークショップ「みんなで公園をみてみよう！」では、約1時間半をかけて、専門家からの解説なども聞きながら、西岡公園内を巡りました。

その後、約30分間は大きな地図に参加者の皆さんに意見や感想を書き込んでもらい、その結果を見ながら意見交換をしました。

特に意見が多かったのは木道に関する事で、関心の高さがうかがえました。



現地観察の後には、大きな地図を用いて意見交換

「古い橋」

■橋の改修をしてほしい

- ・鉄橋が狭い。
- ・橋、古いし狭い。吊り橋にしたら楽しい。



「湿原のあり方」

■樹木で覆われないように…

- ・草花が増えて欲しい。
- ・ヤナギをすこし切って開放的な湿原にしたい。
- ・湿原と陸の界は大事である。



「湿原の生き物」

■多様性は重要

- ・いろいろな生き物の住みかがあって良い。
- ・トンボやヤゴのモニタリングの場として、雪どけ時だけ池になるところを掘って、夏まで水があるようにしたい。
- ・魚がもっといてほしい！



「水源地に降りる階段」

■バリアフリー対応が必要

- ・階段を下りるのに、おじいさんとおばあさんが、手すりにしがみついて階段を登っていた。



「カラマツとトウヒの大木」

■残したいが…

- ・外来種ではあるが、水源池と共に100年の歴史があり、残してほしい。

■このままでは残せない

- ・生育状況が悪く、危険木になる恐れがある。樹木医に診断してもらい、対策を取ることが望まれる。



「木道」

■木道は西岡公園の魅力の一つ

- ・木道はワクワクする！
- ・公園最大の魅力。
- ・長さや設置場所を見直しつつ、木道は湿原に残してほしい。

■見直す場合は…

- ・ループ状とし、スタートにもどる配置がよい。
- ・木道の下は草が生えず、湿原の水を集めてしまうので、環境が変わる。特に中央部の木道は外した方がよい。
- ・木道を減らす場合は、代わりに展望デッキを追加しては。
- ・一部を透明にするとか、子供にもワクワク感を与えたい。
- ・木道は腐らないプラスチック製に。でも木に見えるように。

「湿原への展望」

■展望施設の設置

- ・湿原を展望できるとよい。
- ・小高いところから湿原を見わたせる所があればいい。
- ・湖面を見渡せる人工的なタワー式の展望台は不必要である。湿原にないものをつくるべきではない。

「その他の意見」

- ・古い柵や看板も気になる。
- ・環境教育の一貫として、池の水の出口水路を使って自然エネルギー（小水力発電）のモデル展示はできないだろうか。
- ・札幌軟石を使った花壇を、ボランティアで作る。

「ベンチ等の休憩施設」

■配置の見直しが必要

- ・全体的に休憩スペースが少ない。
- ・園路沿いにイスがあると良い。
- ・園路から離れた所のテーブルやイスは利用されていない。
- ・古いコンクリートのあずまや(水源池の東側)は良くない。
- ・森の中のテーブルが古い。

